

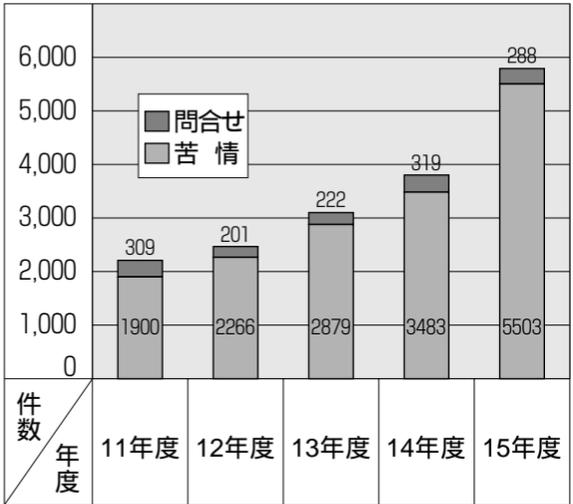


安全で安心
できる社会を
129

くらしの情報

平成16年(2004年)7月25日
編集・発行 西宮市消費生活センター
〒663 8035 西宮市北口町1番1号
電話 0798 69 3159
FAX 0798 69 3162
ホームページhttp://www.nishi.or.jp/~syouhi/

年度別相談件数



苦情相談の特徴
携帯電話やインターネットの出会い系サイト、ソーシャルメディアなどの「有料情報提供料金の請求」「債権回収業者からの高額な請求」などを称した架空請求トラブルが前年度の約4・6倍と増え続けています。

また、不況を背景に、フリーローン・サラ金の相談も前年度の1・7倍に増加。これは、多重債務者の増とヤミ金融の法外な高金利、高額な紹介料などに関する苦情によるものです。

苦情によるもので、トップはインターネット関連

年齢別にみると、30歳未満の相談は1774件で、前年度の93%増となり、特に、携帯電話・インターネット関連サービス、資格取得講座、エステなどの相談が急増しました。

30歳代・50歳代の相談は2974件(前年度比42%増)でインターネット関連サラ金、賃貸アパート、資格取得講座などです。60歳代以上の相談は96

「連絡しないで！無視が一番」 ますます増えた架空請求

平成15年度の当センターへの相談受付件数は、前年度より1989件増加の5791件となり、過去最高を更新しました。そのうち苦情相談は5503件でした。

平成15年度
消費生活相談のまとめ

**トラブルに
あわないために**
こうした身に覚えのない請求は連絡せずに無視しましょう。また、悪質商法の被害にあわないためには、不必要なものは、きっぱりと断り、契約するときは、契約内容をよく確かめることが大切です。

また、契約をしてしまった場合、クーリング・オフ制度により、一定期間内なら契約を解除できる場合があります。

おかしいと思ったら早目に消費生活センターに相談してください。

3件で、特に70歳以上の相談(前年度比29%増)が目立ちます。昼間、一人で居ることが多い高齢者からの相談では、訪問販売による建築・工事の契約などの苦情が多くなっています。また債権回収業者から、架空請求に関するものが増えています。身に覚えがなく、顔の見えない相手だけに不気味に思い、放置しておいて良いか、困惑する高齢者からの相談が相次ぎました。

夏本番！紫外線対策は大事

紫外線による日焼けが気になる季節です。紫外線はシミやしわの原因になるだけでなく、皮膚がんとの関連も指摘されるなど、美容上だけでなく、健康面からも注意が必要です。

「SPF・PA」って何の表示？
日焼けは、おもに太陽光線の紫外線によるおこります。紫外線にはA波UV-AとB波UV-Bがあります。UV-Aは皮膚の奥まで入り込み、しわやたるみなどの老化につながるもので、UV-Bは肌を赤く

「シミやそばかすの原因になり、シミやそばかすの原因になるUVBの防止効果、PAはしわやたるみの原因になるUVAの防止効果を表しています。日本化粧品工業連合会では、SPF50+」を表示上の上限値としています。「PAはPA+、PA++、PA+++と3段階に区分されています。

相談事例Q&A
インターネット・携帯電話関連
事例1
Q 身に覚えのない携帯電話のアドルトサイトの利用代金の請求が債権回収業者より届いた。支払わないと取り立てに行く」と記載。
A おそらく何らかの名簿(卒業生名簿など)を入手し不特定多数に送付されたものであり、利用した覚えがなければ支払う義務はない。徹底して無視すること。連絡することで個人情報を出されたり、さらに多額の金額を請求されたりするので注意する。

事例2
Q 有料の表示がない携帯電話の出会い系サイトに登録したら利用代金の請求がメールで届いた。
A 無料のふれこみで、料金提示がなかったのであればそもそも支払う義務はない。きっぱり断るように。



(平成16年度総会の記念講演会より)

紫外線防止用品の選び方
「SPF」「PA」数値が高ければ高いほど効果があるかという、必ずしもそうではありません。SPF値とは強さではなく、日焼けをどの程度防止できるかという目安の数値です。SPF値やPA値が高いほど紫外線吸収剤・紫外線散乱剤などの化学物質が多く含まれるので、刺激が強くなります。肌への負担なども考慮して生活シーンに合わせたSPFおよびPAの商品を選びましょう。また、

選ぶ時の目安

洗濯など1時間以内	SPF10・PA+
買い物や近くの散歩 1~3時間	SPF20・PA++
屋外スポーツや海水浴など、3時間以上	SPF50・PA+++

洗濯槽のカビに用心
ジメジメした時期は、洗濯槽の裏に洗剤の汚れや身体油脂を栄養にして、カビが繁殖しています。衣類からいやな臭いがしたり、黒いカビがついていたら要注意です。

カビを退治するには、専用の洗剤でなくても、酢を使えば充分です。洗濯槽につばの広い帽子をかぶる日傘をさす長袖を着るサンGLASSは大きめで色の薄いものを選ぶなどの配慮も紫外線対策に役立ちます。

化学物質製品について
化学物質は、私たちの生活を豊かにし、また、便利で快適な毎日の生活を維持するうえで欠かせないものです。これまでに分析、合成された化学物質は、2千万種類で身近にあるのは、約8万種類くらいといわれています。

長谷川講師は合成洗剤、シャンプー、防虫剤、化粧品、芳香剤、抗菌剤など身近な家庭用品に含まれる化学物質の有害性について、ユーモアを交えながらわかりやすく講演をされました。日常生活に深く入り込んだ有害な製品は、環境にやさしい石けん製品を選ぶと訴えられました。

本当に必要なものだけを使う。表示を必ず読んで、安全な使用量と使用方法、廃棄方法を守る。洗剤やシャンプーは、環境にやさしい石けん製品を選ぶと訴えられました。

水を汚染から守るために
石けんを含め、あらゆる洗剤をできるだけ使わないよう工夫し、洗濯の習慣を変えませんか。

洗剤の使用を減らすためには毎日の洗濯の量を減らす、食器についた食べかすを紙や布で拭取ってから洗うなどの工夫を。

洗濯については、着ているものを無意識に「脱いだら洗う」から意識して「汚れたら洗う」に変える。衣服についた汗や大きな汚れは、洗濯機に入れる前に予洗いの習慣をするなど。

